2014年6月15日

**井原慶子、「ル・マン24時間」レースで入賞を果たす**

- 日本人女性初の偉業 –

第82回ルマン24時間レース

井原慶子（ラーブルコンペティション）総合14位、LMP2クラス9位完走。

フランス、ル・マン発；

唯一の女性としてヨーロピアン・ルマンシリーズ（ELMS）および世界耐久選手権シリーズ（WEC）に参戦しているレーシングドライバー井原慶子は、フランスのサルトサーキットで行われた第82回ル・マン24時間レースに参戦。参戦した日本人の中では最高位の総合14位でゴール。日本人女性初で完走し、LMP2 （ル・マン プロトタイプ2）クラスで9位に入賞した。

井原とチームメイトのリッキー・テイラー（アメリカ）およびピエール・ラグ（フランス）の3人が走らせた、「ラルブル・コンペティション」チームの「モーガン・ジャッド」は決勝レースに先立って行われた公式予選でクラス16番手のタイムを記録。やや後方から上位を狙う展開となった。

夜半に発生したタイヤのトラブルが原因でマシンの車体が破損するアクシデントなどもあったが、メカニック達の懸命の作業ですぐにレースに復帰し、その後は順調に周回を重ねていった。路面が濡れた難しいコンディションでは経験豊富な井原が安定した走行を行う一方、激しいバトルが展開される場面などでは若手二人がドライビングを担当するなど、それぞれの個性を活かしたベテランチームならではの戦略で着実に順位を上げていった。

現地時間6月15日（日）午後3時（日本時間同10時）にゴールのチェッカーフラッグが振られると、井原にとって3度目の挑戦となる82回大会が幕を閉じた。この週末を振り返って、井原は次のように語った；

「過去2回はマシントラブルで決勝レースをほとんど走る事ができなかったので、まずはル・マンをたくさん走れてとても楽しかったです。チーム一丸となって粘り強く頑張った結果、9位入賞という結果も出せて本当にうれしく思います。メカニック、エンジニア、ドクターなどチームのみんなと、これまで応援して下さったスポンサーの方々やファンの皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。」

なお井原は今年、BMWの「iシリーズ」（電気自動車）スポークスパーソンに就任し、これまでと同様、自動車の安全への取り組みや交通社会環境改善のための活動を続けていく。

以上